



## ・・・東林地区・・・

東林地区は、住宅地や商業地として発展する一方で、公園や緑地が点在しており、市民の憩いの場も充実しています。また、毎年夏に開催される「東林間サマーわぁ！ニバル」は、10万人以上の来場者を迎え、阿波踊りの踊り手と観客で埋め尽くされます。

### 東林地区優秀賞



【撮影者】後藤 洋子

【タイトル】笛吹童子

【撮影場所】東林間の東林さくら通り

【コメント】東林間に生まれ育って56年。子どもの頃から慣れ親しんだ東芝病院の桜のトンネル。笛吹く子と太鼓を叩く子がズラーっと並び始めたのはいつ頃からか？桜も老木になり、切り倒されて古株が残っているだけのものも。わたしが生きてる残りの間、桜とこの子達が元気でいてくれるといいなどの思いで、写しました。

#### 審査員寸評

地域にこまやかな目で接する撮影者の気持ちを感じ取ることができました。主題である子供の像の質感もしっかりと出ています。画面左側を大きく開ける大胆な構図ですが、そこには通路があり、住民が往来する生活感が見て取れます。おとなしい表現の作品ですが、地元を愛する強い思いがにじみ出ています。

【撮影者】加藤 靖士

【タイトル】春ランマン

【撮影場所】松が枝公園

【コメント】家族連れで賑わう公園もコロナの影響で三密を避ける。



「第9回 南区 私のイチ押し写真」  
応募作品発表



【撮 影 者】神代 秀男  
【タイトル】秋空に柿の実  
【撮影場所】東林間6丁目の「水道道」にて  
【コメント】コロナウイルスの感染が一向に収まらないなか、天気が良いので散歩に出かけてみました。路上にはみ出しているそれも半端でない柿の木に、当然のように立ち止まりました。実の付き方が見事なので、写真を撮らせてもらいました。私の横を母子が通りすぎりに、「カキだ〜」と子どもさんが叫び、母親が笑顔で答えていたのが印象に残りました。

【撮 影 者】大井川 俊市  
【タイトル】街角の日暮れ  
【撮影場所】相南 南公園付近  
【コメント】西空が一日の終わりを告げるように静かに時が過ぎ、最後の輝きを残しつつ日が落ち行く風情を収めた写真です。



【撮 影 者】大井川 俊市  
【タイトル】宵闇迫る  
【撮影場所】相南 南公園付近  
【コメント】一日の活動から解放され、静かに西空をオレンジ色に染め美しさを残しつつ、夜の帳が下りるのを待つ哀愁漂うひと時の風情を収めた写真です。



【撮影者】後藤 洋子

【タイトル】深緑の番

【撮影場所】深堀中央公園

【コメント】毎日の犬の散歩コースにある深堀中央公園。春には桜のピンクと雪柳の白と、れんぎょうの黄色の素晴らしいコントラスト。夏にはこんな風な美しい緑。秋には紅葉して葉が落ち始め冬には裸の木にと、四季折々に素敵すぎる景色を見せてくれます。悲しいかな開発で周囲が変化してしまいましたが、どうか、ここはこのままであって欲しい。毎日ありがとう。の気持ちで写しました。



【撮影者】春木 紀子

【タイトル】森の妖精

【撮影場所】東林ふれあいの森

【コメント】晩秋の誰もいない森は、枯葉を踏む音・小鳥たちのさえずり・時折聞こえる電車音、森の木漏れ日の中に、妖精たちを見たかもしれない私！